

従業員向け

放課後等デイサービス評価表

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	活動に応じて、机の配置やパーテーションの設置などを行うようにしているが、落ち着いてクールダウンができる場所を確保することが難しいため、今後場所の確保などを検討していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	配置基準は満たしているが、配慮が必要な子が多い日などは、人員配置を考慮し、活動内容も工夫していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	写真などを使用し、物を置く場所などを視覚支援で子どもたちにわかりやすい環境設定を行っている。また、段差なく、スロープや手すりの設置がされている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎朝、掃除を行っている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	必要に応じてパーテーションを設置したり、別室に移動し、落ち着いて過ごすことができるような環境作りをしている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	月に1回、活動会議や全体会議を行い、業務改善につなげている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者向けの評価表に基づき、職員全員で話し合い、業務改善につなげている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	定期的に話し合いの機会を作り、業務改善につなげている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	今後、業務改善に取り組んでいく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	定期的に、内部研修を行っている。外部研修などにも積極的に参加している。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	ホームページにて、支援プログラムを公表することができている。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	定期的に会議を開き、個々のこどもに対してアセスメントに基づき、計画を作成することができている。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	日々の個別記録作成や職員間での話し合いにより、共通理解ができるようにしている。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	個別支援計画が変更になる時に、支援の内容を職員間に共有し、計画に沿った支援ができるようにしている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	個別支援計画に必要な項目を記載し、ねらい及び支援内容も踏まえながら、支援内容を設定することができている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	月に1回、活動会議を行うようにしている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	どの利用日でもまんべんなく体験できるように配分したり、児童の特性を踏まえ、様々な感覚に働きかけるように組み立てるなどして、楽しめる活動を取り入れるように工夫している
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	集団活動を主に行いながら、個別の課題などに取り組む時間も作っている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	朝礼などで、活動内容やこどもたちの様子などを共有し、連携して支援を行うことができている。 朝礼で話し合った内容などをパートさんにも個別に伝えられるように改善していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	夕礼の時間に振り返りを行っている。 打ち合わせができない日もあるので今後、改善をしていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	日々の活動の反省などを書類に記載し、支援の改善につなげている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	個別支援計画の時期に、モニタリング会議を行い、見直しを行っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	ガイドラインに沿った療育を心掛けているが、地域交流に関しては、できていないため、今後検討をしていく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	自己選択・自己決定ができるように支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児童発達支援管理責任者が参加している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	必要に応じて、連携をし支援を行っている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	入所の時に、細かな支援を方法を情報共有することができている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	6	開所してから事例がないため、該当する場合には行っていくように努めていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	6	今後、必要に応じて機会を設けるようにしていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	積極的に参加できるように努めていく。
関係機関や保護者との連携	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	個別計画面談以外にも、家族の不安に対し時間を作って頂き、お子さんの状況や問題など話し合い、解決に向け、共通理解に努めています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6	実施に至っていないので、今後行えるように検討をしていく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約の時に、保護者の方に分かりやすく伝えられるように心がけている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	面談の時に、個別支援計画の支援内容の説明を行い、保護者の方に同意を得るようにしています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	その都度、気持ちに寄り添いながら、コドモンの連絡帳や電話などを活用したり、事業所に来ていただいて、相談事に応じている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3	父母の会の発足はしていないが、ご家族の方を招待し、秋まつりを開催し、保護者同士で交流する機会を作ることができた。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	児童発達支援管理責任者が情報を収集して、迅速丁寧に対応に努めている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	月に1回おたよりや活動予定表などを配信することができている。また、行事などがある時には、その都度配信を行っている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	入職時に誓約書を提出してもらい、書類の持ち出し時には個人名を入れないよう、個人情報の取り扱いには十分に注意している。また、重要書類は鍵付きの書庫で保管をしている。
	44	障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	わかりやすい言葉で、端的に伝えるようにしたり、図や文字を用いたりして配慮している。
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	今後できるように検討をしていく。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	3	各種マニュアルの作成は出来ているが、周知に関しては、今後、強化していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	毎月、避難訓練を実施している。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	事前に保護者の方からの聞きとりをし、服薬状況やてんかん発作のことなどの状況を確認することができている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	食物アレルギーのこどもがいないので、対応は行っていないが、今後アレルギーのこどもが入所する時には、医師の指示書などの提出をお願いしていく。

	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	必要な研修や訓練を行っている。
非常時等の対応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	3	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	定期的に話し合いを行い、再発防止に向けた対策を検討することができている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	事業所内の研修を定期的に行ったり、外部の研修にも積極的に参加をしている。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	研修を行って、身体拘束についての知識を共有し、保護者の方々にも身体拘束の指針を説明し、同意書をいただいている。